

V-Saloon (ゼミ室実用版) への要求メモ (「仮想サロン, 雑談アプレット」)

1. 提案理由

- (1) グループウェアの一つとしての「アウェアネス」ツール
- (2) 身近なところから始めて本質に迫るアプローチ

2. 目的

ネットワークを介して,

- (1) バーチャルサロン(?)の実現
- (2) 話しかけられる距離にいる人との対話形式相当の実現 (メール, 電話と異なる)

3. シナリオ「Dr. yeyeの場合」

(1) Dr. yeyeは, 朝, 研究室に来て, 今, ゼミ室に誰がいるかなと思い, サロン”ゼミ室”のアイコンをクリックすると, 安部, 馬場, 千葉の3人がいた。

(2) 自分のアイコンをサロン”ゼミ室”に入れ, 自分のアイコンをクリックして, メッセージボードに「今日は, 気分がいいな. 午後3時までは何も予定が入っていないな」というつぶやきメッセージを貼付した。

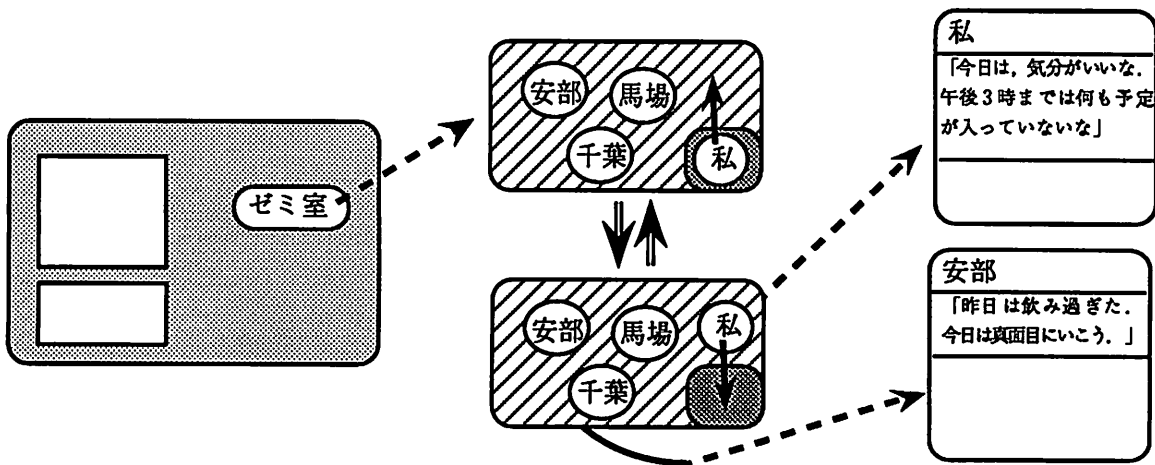
(3) Dr. yeyeは, 安部の来月の学会発表の内容が気になっていたのを思い出し, ”安部”をクリックした。安部のメッセージボードに「昨日は飲み過ぎた. 今日は真面目にいこう。」というつぶやきメッセージが貼付されていた。

(4) そこで, Dr. yeyeは, ”安部”に「これから学会発表の打合せをしないか」というメッセージを送った。安部は席をはずしているらしく, すぐには返事が返ってこなかった。しかたなく, いったんサロン”ゼミ室”を閉じた。

(5) Dr. yeyeは, しばらく今朝届いていた電子メールの処理をしていると, サロン”ゼミ室”がピッと鳴って色が変わった。サロン”ゼミ室”をクリックすると, ”安部”がウィンクしていたので, それをクリックすると, 安部から「今から先生の部屋に行ってもいいですか」というメッセージがきていた。

(6) Dr. yeyeは, 「いいよ」という返事を返し, 安部が部屋に来ると, サロン”ゼミ室”から自分のアイコンを取り出して, 打合せ中に他のゼミ生から割り込みがないようにした。

(7) Dr. yeyeは, 安部との打合せが終わると, 再び, サロン”ゼミ室”に入り, 在席者全員に向けて「誰か, 私と打合せをしたい人はいるかい」というメッセージを流したが, 誰からも返事はなかった。



4. 基本機能

- (1) サロンに入室可能な人のアドレス管理。(メールリングリストに類似)
- (2) サロンへの入退室の動的アドレス管理。
(デザインパターンObserverの応用? Model * 1 + View * n)
- (3) サロンへの入室時に, 自動消去の時間指定可能とする。
(退室処理を忘れた時のため, 例えばデフォルトは1時間.)
- (4) つぶやきメッセージは, いつでも登録, 追加, 取消, 再登録など可能とする。
- (5) サロン内の特定の個人又は全員に話しかけるメッセージ送信時に, そのメッセージの自動消去の時間指定可能とする。明示的な取消も可能とする。
(送信者の状況も刻々と変化するため, 例えばデフォルトは10分.)
- (6) メッセージボードに表示するメッセージには, 記入時刻を付加。
- (7) サロン内の人にメッセージが到着したとき, および, 誰かが新たにサロンに入室したときは, ピツという音and/or 色の変化で知らせる。
- (8) 複数のサロンの管理。("ゼミ室", "ゼミ室3年生", "スキー旅行", "秘密xx")
- (9) LAN, インターネットの場合などなど種々のネットワーク環境への対応
- (10) 実現方式の検討: RPC, Java...
- (11) ...

5. 技術調査要.

特に学会誌.

以上